

第 141 回 西アジアの植民地化

1 エジプトの植民地化

- ・オスマン帝国領のエジプトでは、2度の（ ）を経て、ムハンマド=アリーが総督の世襲を認められ、事実上の独立状態となっていた。



ムハンマド=アリー
19世紀前半のエジプトの歴史は、この男の歴史である。

☆エジプト（ムハンマド=アリー朝）（1805～1952年）

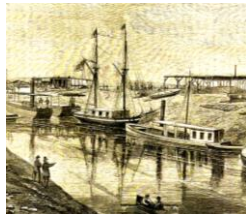
- ◆（ ）（在位 1805～1849年）
 - ・フランスの援助によるエジプトの近代化をおしすすめていった。
 - ・1838年、トルコ=イギリス通商条約がエジプトにも適用され打撃を受けた。→相次ぐ戦争や急激な富国強兵のため、ムハンマド=アリーの死後にエジプト財政は破綻寸前となった。

- ・1869年、フランス人（ ）により（ ）が開通した。→地中海と紅海がつながり、アジアとヨーロッパの航海が容易となった。→しかし財政難のエジプトは、これを売却せざるをえなくなった。
- ・1875年、イギリス首相（ ）は、ユダヤ財閥（ ）からの融資により（ ）を行った。→イギリスによるエジプト進出が本格化していった。



レセップス

フランス人で元外交官。スエズ運河株式会社を設立して資金を集め、開通に成功した。後にパナマ運河の建設にも挑戦したが、こちらは失敗した。



開通当時のスエズ運河

全長 162 キロ。完成まで 10 年かかると多くの犠牲者を出した。これにより喜望峰をまわらずに、ヨーロッパとアジアを行き来できるようになった。



保守党のディズレーリ

おなじみ保守党のディズレーリ。彼がユダヤ系であったことは、スエズ運河の買収に大きく影響した。小説家でもある。

- ・1881年、エジプトの軍人（ ）は、外国の支配に反対し「エジプト人のためのエジプト」を主張して革命を起こした（ウラービー革命）。→イギリスはこれを鎮圧し、以後エジプトは事実上イギリスの保護国になった。



ウラービー大佐(パシャ) イギリス軍
スエズ運河を売却したにもかかわらず、エジプト政府は 1876 年に破産したため、イギリスなどに財政を管理されるという屈辱的な状態となった。ウラービーはセイロン島に流刑となったが、彼の運動は、エジプト民族運動の出発点と評価される。



2 アフガニスタン・中央アジアの植民地化

☆アフガン王国（ドゥッラーニー朝）（1747～1842年）

都…（ ） ※現在もアフガニスタンの首都

・（ ）は、1838年に始まる第1次（ ）では敗れたが、第2次アフガン戦争の結果、1880年にアフガニスタンを保護国とした。

・ロシアは中央アジアへの南下政策を行い、1867年にトルキスタン省を設置した。
→1868年に（ ）、1873年に（ ）がロシアの保護国とされ、1876年には（ ）がロシアに併合された。



パシュトゥーン人の少女

パシュトゥーン人は、アフガン人とも呼ばれ、今もアフガニスタンで最も多い民族である(45%)。エメラルド色の瞳をした人が多いらしい。平和になったら行きたい。



廃墟のカーブル

ターリバーンとの戦争で廃墟になり、現在復興中。ニュースなどでは「カブル」と言っているが、アラビア文字の発音からすると正確にはカーブルです。



ロシア皇帝アレクサンドル2世

19世紀のロシアは、バルカン半島、中央アジア、西アジア、中国と、ユーラシア大陸全土で南下政策を進めていた。

3 イランの植民地化

・イランでは（ ）が滅ぼされた後、アフシャール朝、ザンド朝、そして1796年にガージャール朝が建国された。

☆（ ）（1796～1925年）

都…（ ） ※現在もイランの首都

- ・南下政策を進めるロシアに敗れ、19世紀初頭にアゼルバイジャンを失った。
→さらに1828年、（ ）を結び、黒海とカスピ海に挟まれたカフカスの（ ）がロシア領となり、関税自主権を失った。
- ・アフガニスタンをめぐる争いでも、イギリスに敗れた。
- ・サイイド=アリー=ムハンマドは自らをバーブと称し、（ ）を始めた。
→男女平等や私有財産の廃止を唱えて1848年に（ ）を起こした。
※鎮圧されたが一部は後にバハーイー教へと発展した。
- ・また民衆も、（ ）などでヨーロッパの進出に抵抗した。

4 西アジアの植民地化の影響

- ・この地域をめぐるイギリスとロシアの対立を（ ）という。
→日露戦争後の1907年に（ ）が結ばれ、勢力圏の調整がはかられた。
- ・西アジアの植民地化に対して、イランの（ ）やエジプトのムハンマド=アブドゥフのように、（ ）を唱える者も現れた。



テヘラン

テヘランの自由広場に建つモニュメント。現在は人口1000万人をかぞえる、イラン最大の都市である。一度行ってみたいが、私は入国できない…。



水タバコ

タバコを吸う当時のイラン人。中東では、紙タバコだけではなく、水タバコも一般的である。水をフィルター代わりにする。



アフガーニー



ムハンマド=アブドゥフ

2人の活動は、ウラビー革命や、タバコ=ボイコット運動に大きな影響を与えたとされる。アフガーニーの方が早い。